

ECHIGO JOETSU

9

September

広報
えちご上越

Vol.
19
2025

特集

求められる「えちご上越米」
を目指して



P.07 えちご上越 News

農とともしに

地域の食を支える農業者



with agriculture

● 上越市小泉



中島 秀さん

経営メモ

園芸(ピーマン、春キャベツ、トマト、キュウリ)



トマトの管理をする中島さん。11月中旬まで出荷する予定です。



「青年農業者意見発表会」で上越地域農業者グループ「ひかり」を代表し、発表する中島さん。(令和6年3月15日)



「さいわい農場」ロゴが目印です。



農場名は、「野菜をわいわい育てよう」が由来。中島さんが知る限り最強の人、母親の幸子さんの名前から。

次世代に繋がる農業経営の確立を

令和6年に独立し、園芸農家として経営を行う、さいわい農場の中島秀さん。ハウス2棟でトマトとキュウリの栽培を、露地ではピーマンと春キャベツの栽培に取り組んでいます。

中島さんが農業を仕事にしようと思ったのは中学生のころ。小さいころから外で遊ぶのが大好きだった中島さん。両親が休日に農業を行っていたことから、農業が身近にあったと言います。中学生になり、進路を母親の幸子さんに相談すると、「農業をやってみたら？」という一言が。それが転機となりました。

高校卒業後、農業大学校で水稲経営を学び、上越市小泉の(有)内山農産に就職。5年間水稲栽培に取り組みました。「就職し4年が経ったころ、自分の力や発想で一から農業に取り組んでみたいと考えるようになりました」と話す中島さん。上越地域の若手農業者で構成する上越地域農業者グループ「ひかり」(4Hクラブ)の先輩にも相談。背中を押してもらい、未経験の園芸農家としてスタートすることを決めました。

(有)内山農産を退職後、初めての挑戦となる園芸技術を学ぶため、上越市浦川原区の(株)エー・エフグリーンで2年間研修。その後独立しました。「農家の先輩たちに相談すると、経営面や栽培技術、おすすめの品

種など、親身になってくれるのでとても感謝しています。自分にはない考え方もあり、すごく刺激になっていますね」と話します。

現在は、「A農産物直売所」あるるん畑」を中心に出荷をする中島さん。丹精込めて栽培したものを選んでもらい、買ってもらうこと、手をかければかけるほど作物も応えてくれる所にやりがいを感じていると言います。

中島さんがコンセプトとして取り組むのは、次世代に繋げられるような安定した経営のモデルケースになることだと言います。「一人での作業には限界があります。農業以外のやり方で何かアプローチができないか、例えば、現在コンテナ栽培で取り組むキュウリを、食品ではなく美容関係のものに加工できないかと考えています」と話します。以前視察で訪れた福井県のイチゴ農家の「なぜ加工品＝食べ物なのか」という一言がそう考えるようになったきっかけでした。

今後の目標は、上越地域を野菜の一大生産地にすること。先輩農家などと連携しながら取り組んでいきたいと話すと中島さん。「今後は柔軟な発想で農業の可能性を広げていけるよう、取り組んでいきたいです」と笑顔で話してくれました。

特集

求められる 「えちご上越米」を 目指して



JAでは、全国の消費者に求められる「えちご上越米」を目指し、農家と一体となり安全・安心で高品質な米づくりに取り組んでいます。現在も米の需給が不透明な状況が続いていますが、JAでは情報発信や関係機関への要請を継続して行っています。また、計画的な生産や契約栽培、棚田米など特色ある米の集荷を強化するとともに、産地と販売先をつなぐ取り組みをさらに進めていきます。

消費地から見た「えちご上越米」～令和7年度 えちご上越米求評懇談会～

7月24日には、上越市内で「JAえちご上越米求評懇談会」を開催しました。全国各地の米卸・小売業者43社50人を招き、「えちご上越米」の消費地での評価や要望などを説明いただきました。

消費地から寄せられた「えちご上越米」への評価・要望など

木徳神糧株式会社 仕入業務部アシスタントマネージャー 小川 翔太郎 さま

良質米を供給いただいております。全国的に販売を展開し好評を得ています。米騒動の影響もあり、米価が上昇した。流通形態の変化に伴い、弊社の調達計画がお客様のニーズに応えられない状況で、端境期までもたせるように計画納品・販売調整を行った。過去にない困難を迎え、経験と実績を活かして品質の良いものを栽培していただいた。弊社でしっかり販売し、「えちご上越米」を守っていききたい。

株式会社むらせ 調達部次長 矢作 徹 さま

「えちご上越米」は、コシヒカリやこしいぶき、みずほの輝きなどラインナップが多くある。令和7年産をしつかりと販売していくために、実需や消費者に顔が見えるような販売をしていきたい。高温の中、生産者が苦労して栽培している。生産者を支援していただけるような環境をつくり、品質向上につなげてほしい。

株式会社キスメット・オリザジャパン 代表取締役 廣野 利昭 さま

コシヒカリ、こしいぶき、新之助、加工用米、飼料用米などを取り扱っている。コシヒカリについては、高品質で販売先の量販店では売り上げ1位を誇る。新之助については、高温耐性があり、収量も安定しているため、安心して量販店や販売先にプロモーションをかけたい品種。食味がさっぱりしており、若い世代に好評を得ている。「えちご上越米」のブランド力向上に向け、弊社としても貢献していきたい。

令和7年産米の販売に向けた取り組み

1. 多様な需要に応じた米の生産と販売

【令和7年産米出荷契約数量取りまとめ状況(令和7年6月30日現在)】

【令和6年産米の出荷実績】

用途	種類	出荷契約数量 (60kg個)
主食用米	うるち米	538,337.0
	酒米	18,474.0
	もち米	9,298.5
	計	566,109.5
非主食用米	計	58,928.6
	合計	625,038.1

品種名	令和6年産出荷数量 (60kg個)	1等比率
コシヒカリ	249,704.5	91.1%
こしいぶぎ	85,802.4	91.2%
みずほの輝き	64,323.3	92.7%
つきあかり	43,946.8	74.2%
にじのきらめき	31,116.7	87.0%
新之助	30,118.5	97.9%

2. 多様な「こだわり米」の取り組み推進

減農薬米、棚田米、 地区指定米等の維持・拡大

消費者から要望の多い「こだわり米」について、需要先に確実に結び付けを行うことで、顔の見える産直拡販を進め、生産の維持・拡大を図ります。

こだわり米の区分

- JA統一5割低減栽培(コシヒカリ)
- エコライス米(ひすい地域)(コシヒカリ)
- 特別(5割低減等)栽培米(地域別)(コシヒカリ、こしいぶぎ、もち米)
- はさかけ米(地域別)(コシヒカリ)
- 棚田米(地域別)(コシヒカリ)
- 地区指定米(コシヒカリ等)

「棚田米SDGsプロジェクト」の取り組み

「棚田米SDGsプロジェクト」は、棚田米生産者と実需(消費者)との「顔の見える」販売強化により、棚田米生産を持続的に継続し、上越地域の棚田を、次の世代に繋ぐ取り組みです。

○取り組み計画

①「棚田米」の価値を共有し、安定的に購入いただける取引先への販売

- 生産者のモチベーションアップと結び付き強化による販売促進
- 「SDGs」を切り口とした、新たな付加価値の創出

②行政との連携による販売促進活動や交流活動

- 取引先・行政・JAが連携した事業展開(首都圏の米穀店を対象とした棚田米説明会、小学校を対象としたWeb中継授業の開催等)
- 棚田米研究会(仮称)の設立
関係機関と連携し、中山間地域生産者のやりがいづくりの構築を目指し、棚田米研究会の設立を計画しています。

目指せ！
日本一の
棚田米産地



令和7年1月23日 上越地域米「未来へつなぐ食と農」連絡会を発足

安全・安心で高品質な米の安定供給や、持続可能な農業の実現と生産者の所得向上に向けて、JAと上越市、妙高市、糸魚川市の3市が連携して取り組むことを宣言しました。

上越地域米の認知度向上と農業者の生産意欲につなげるため、「食と農」の魅力を発信し、米産地として発展するよう連携・協力をしています。

確実な区分集荷・区分管理を徹底しています。また、ラック倉庫を有効的に活用し、小ロットでの扱いも可能です。

- ・共同乾燥施設(カントリーエレベーター 9施設、ライスセンター 11施設)
- ・低温倉庫(16施設)



今年度新たに稼働する「高田和みの郷ライスセンター」。

えちご上越 News

7/24

「電話を持ってATMへ！」は詐欺です 有田支店 上越警察署から感謝状を受け取る

特殊詐欺被害を未然に防いだとして、有田支店と関係職員が上越警察署から感謝状を受け取りました。

6月下旬の夕方、ATMを利用中の60代女性が携帯電話で通話をしながら操作しているのを、職員が発見。女性から話を聞いたところ、不審な点があり警察に通報。特殊詐欺であることが判明し、被害防止につながりました。

巧妙な手口の詐欺が増えています。心当たらない、おかしいと思ったら、JAにご相談ください。



上越警察署から感謝状を受け取った職員。

7/28

上越地域の農産物への理解を深める 高田北城高校の生徒があるん畑を見学

総合的な探究の授業の一環で新潟県立高田北城高校の生徒40人があるん畑を訪れました。

生徒は、あるん畑店内の販促に向けた陳列やPOPなどを撮影したり、メモを取ったりしながら見学。また、農業対策課の職員からJAの取り組みなどの説明を聞いた生徒は、班ごとに地域の課題解決に向けたプロジェクトの内容を職員に紹介し、積極的な意見交換を行っていました。



あるん畑見学後、会議室で意見を出し合う生徒たち。

7/28

ピーマン振興に向けた取り組みを紹介 JAグループ新潟テレビCM「農業が好きだ。」管内で撮影を実施

JAグループ新潟のテレビCM撮影が、妙高市大貝の小島康彦さんの圃場と園芸拠点集出荷施設で行われました。同CMは、新潟県の農業とJAグループのイメージアップを図ることが目的。県内の8JAでそれぞれ撮影が行われています。

圃場で小島さんが営農指導員とともに収穫作業をする様子や、同施設で選別作業をする様子などを撮影。CMは10月下旬から放映される予定です。



圃場での作業を取材を受ける小島さん。



ピーマン振興に関わる営農指導員も撮影に参加しました。



8/1・21

農作業事故を未然に防ぐ 農作業安全管理者・オペレーター研修会

作業者の安全意識を高め、農作業事故を未然に防ぐことを目的に、農作業安全管理者・オペレーター研修会を上越支店とひすい営農センターで行いました。

参加者は、管内で実際に発生した農作業事故の事例や発生要因のほか、熱中症による事故が増えていることを受け、具体的な症状や予防対策などを学習。また、コンバインの安全点検とセルフメンテナンス講習も実施し、無事故に向けて技術習得を図りました。



講師の農業機械課職員より講習を受ける参加者。



活発な意見交換が行われた懇談会。

8/6

女性部ならではの目線をJA運営に 女性部本部役員とJA役員との懇談会

女性部本部役員とJA役員との懇談会をJA本店で行いました。本部役員やフレッシュミズ代表など11人が出席。女性部の池田部長は、「部員がJAとの接点の中で感じた疑問や要望などの声を届け、JAと女性部の発展につながるような懇談会にしたい」とあいさつしました。

「米の価格高騰の報道では、米の値段が上がっていることだけに焦点が当てられ、農家の現状が消費者に伝わっていないように感じる」、「JAとして米づくりの大切さを伝える活動を強化してほしい」などの意見が出されました。

8/9~

色とりどりの地場産盆花がずらり 各直売所 お盆に合わせたイベントを開催

JA農産物直売所「あるるん畑」、「ひすい食彩館」、「浦川原物産館」でお盆に合わせたイベントをそれぞれ行いました。

毎年大人気の各直売所の盆花コーナーには、アスターやユリ、ケイトウなど色鮮やかな地場産の盆花がずらりと並び、両手いっぱい盆花を買いたい来店者でにぎわいました。また、旬の夏野菜なども勢ぞろいし、帰省客などに地場の魅力をPRしました。



色鮮やかな盆花が並ぶあるるん畑の盆花コーナー。



営農情報



稲わら・もみ殻の「秋すき込み」で土づくり

ケイ酸の補給が「土づくり」の第一歩

稲わらは焼却せず、すき込みして有効活用しましょう

秋すき込みの効果

多くの水田土壌で
ケイ酸が不足しています！

- すき込みを毎年行うことで、堆肥とほぼ同等の効果が期待でき、地力の向上・維持が図れます。
- 秋すき込みにより、翌春のワキの発生や浮きわらを軽減し、初期生育の向上が期待できます。
- 収穫した分のもみ殻をそのまま圃場に戻すと、10㍍あたり約25kgのケイ酸が補給できます。



すき込みのポイント

- 1 すき込みは、稲刈り後の地温が低下する前の10月中旬までに行いましょう。
 - 2 コンバインで細断した稲わらを、圃場に均一に散らします。
 - 3 浅うち(5~10㍍程度)で、分解に必要な酸素供給と春先の土壌の乾燥を促します。
- ※すき込み時に深耕すると、下層に入った稲わらは分解しないので注意しましょう！
※腐熟促進剤を稲刈り後の稲わらに散布し、すき込むとさらに効果的です。

土づくり資材を

積極的に投入しましょう



資材名	10㍍あたりの 施用量	10㍍あたり ケイ酸補給量
越後の輝き ソイル米スター <small>(県下統一肥料で低コスト・省力型)</small>	30kg(元肥)	9kg
けい酸加里プレミアム34 <small>(低地力圃場におすすめ)</small>	50kg(元肥)	17kg
スーパーシリカプレミアム <small>(追肥散布で登熟向上)</small>	30kg(追肥)	9kg

令和8年産米用 土づくり推進支援について

JAでは、異常気象に強い米栽培を目指して、下記の通り土づくりの取り組みを推進しています。



支援内容	土づくり資材の各価格(当用・予約)から、対象資材1袋に対して220円(税込)を差し引いた金額で提供(フレコン規格の場合は、重量に応じて助成)	
対象資材	ケイ酸資材	越後の輝きソイル米スター・えちご上越ソイル元気・けい酸加里プレミアム34 スーパーシリカプレミアム・苦土重焼燐35・とれ太郎
	稲わら腐熟剤	ワラクサールEX・ワラ分解キング・アグリ革命(細粒)
対象期間	令和7年9月1日(月)から令和8年8月31日(月)までの購入分が対象	

お問い合わせ先 農業対策課(指導購買・中央資材店舗内) TEL025-527-2060

動画はこちらから /



令和7年産米 JA への出荷をお願いします

令和7年産主食用うるち米の全品種については、「出荷契約米」と「出荷契約達成米(超過米)」の仮渡金および精算額は同額となります。ぜひ、出荷契約数量以上の出荷をお願いします。

JA出荷のメリット

① JA委託販売(共同計算)ならではの最終手取額と経費の透明性

翌々年の2月ごろの最終精算金支払いとなりますが、販売代金から明確な流通経費等を差し引いた金額となり、最終手取額は透明性のある金額です。

② JA出荷で手取額が向上

JAへの集荷数量が増すことで全国の卸等販売先への価格交渉力等が高まり、出荷者の手取額向上につながります。

③ JA出荷でえちご上越米のブランド力維持・向上

「えちご上越米」の評価・価値を守り、全国の消費者に安定供給するために、卸等販売先の要望数量に応え、えちご上越米のブランド力を向上させ厳しい産地間競争に勝ち残ります。

JA委託販売(共同計算)の強み

① 数量の確保や品質の統一で有利販売が実現でき、卸等販売先などへの販路を確保しています。

② JAグループで連携した販売や消費者へのPRに取り組み、有利販売を行っています。

③ 生産者は販売をJAに任せることで、生産に集中できます。

所得向上と価格安定、「えちご上越米」のブランド力向上のために、JA えちご上越へ出荷結集をお願いします！

お問い合わせ先 販売課 TEL025-527-2051

B パワー (ぼかし原料) 注文受付中

JAでは、良質な農産物の生産・販売強化と土壌改善ならびに環境保全型農業の推進に向け、籾殻を有機資材(たい肥)に変える「Bパワー」の製造・販売を行っています。

【お申し込み・引渡し場所】

園芸拠点集出荷施設(上越市藤巻58-1)

■価格 1 t あたり150円(税込)

※受注生産のため、お早めにお申し込みください。

申し込み方法

たい肥にしたい籾殻の重量(または何 t 分の籾殻か)とたい肥の使用時期を申し込み時にお伝えください。



引渡し方法

Bパワー製造完了後、引渡しの日時などを連絡します。なお、精算は口座振替でお願いします。

【たい肥のつくり方】

【資材】○籾殻(10 t 分)：約130 kg

○Bパワー：約6~7 kg (籾殻重量の5%)

○水：適量(握ったとき手のひらに水気を感じる程度が適量)

○米ぬか：約6~13 kg (籾殻重量の5~10%)

畑地・水稲用 尿素(約1.3 kg)または発酵ケイフン(約25 kg)

水稲用(5割低減栽培) 発酵ケイフン(約25 kg)



① 籾殻をビニールシート、またはコンクリート等の上に広げ、Bパワー、尿素または発酵ケイフン、米ぬかを適量混ぜ合わせる。その後適量散水し積み上げる。

② この作業を繰り返し、高く積み上げる。

③ 防風ネットとシートを被覆。温度が上がり発酵が始まればシートを撤除する。

④ 2~3週間そのまま。その後、切り返して酸素を補給する。

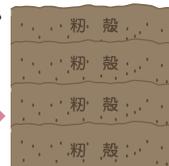
⑤ ③④を繰り返し、2ヶ月程度で完成。

〈混ぜ合わせて積み上げるつくり方〉

Bパワー・米ぬか・水・尿素又は発酵ケイフンを混ぜ合わせる



高く積み上げる



大量に作成する場合はほかのつくり方もあります。(詳しくは園芸拠点集出荷施設まで)

お申し込み・お問い合わせ先 販売課(園芸拠点集出荷施設) TEL025-521-5181

生活部

美容と健康に「よもぎ茶^{ちや}ん」はいかがですか？

問店舗生活課 TEL025-530-7556

上越地域の豊かな自然で育まれたヨモギは、香り高く風味豊かで、ビタミンやミネラルを豊富に含んでいます。ノンカフェインなので、睡眠前や、食事のお供、水分補給にもおすすめです！



よもぎ茶ん 350ml×24本入
3,888円(税込)

お申し込みは上記問い合わせ先までお願いします。
ご注文から1週間前後でお届けいたします。

営農部

「えちご上越米」新米セールのお知らせ

問産直精米工場 TEL025-532-4675

- 日時 10月4日(土)・5日(日)
- 会場 上越あるるん村(上越市大道福田639)
- 内容 **令和7年産「えちご上越米」の新米 全国各地へ発送予約を承ります！**
※詳細は、新聞折り込みチラシやSNSなどでお知らせします。



農業用廃プラスチック等回収のお知らせ

営農部

農業用廃プラスチック等を、下記の日程で回収しますのでご確認ください。

■ 回収日・回収場所 回収時間 9:00~16:00

回収日	回収場所	電話番号
10月21日(火) ~22日(水)	中央資材店舗 上越市藤巻5-26	025-527-2000
	はまなす資材店舗 柿崎区柿崎3315-1	025-536-2285
10月28日(火) ~29日(水)	三和資材店舗 三和区野832	025-532-2315
	頸北資材店舗 頸城区百間町1029	025-530-3120
	ひすいグリーンセンター 糸魚川市大和川436	025-552-8240
11月 6日(木) ~ 7日(金)	能生グリーンセンター 糸魚川市桂145-1	025-566-2022
	わかば資材店舗 安塚区安塚2544	025-592-3238
	頸南資材店舗 妙高市高柳1-16-8	0255-72-6503

■ 回収品目と回収料金 育苗箱1枚・ほか1kg当たり

品目	農ポリ類	農ビ類	空容器	育苗箱	廃棄農薬	廃棄肥料	米紙袋
税込価格	49円	82円	269円	19円	236円	236円	37円

※農薬…水銀剤・PCB・PCP・BHC などについては別料金となります。
表示ラベル等がなく、成分を判別できない農薬は、処分をお受けできませんのでご了承ください。

■ 提出していただくもの:委任状

処理・運搬等に関する事務をJAに委託していただくため、**委任状の提出**をお願いします。各営農センター・資材店舗・グリーンセンター、各支店に備え付けの用紙に必要事項を記入し、回収日当日にご持参ください。委任状への押印は不要ですので、記入例を確認し、ご記入ください。また、排出者が団体や法人の場合は、組織名および代表者名をご記入ください。用紙はJA えちご上越ホームページからも印刷できます。

梱包要領と注意事項

ビニール類 ハウスビニール、シート

- 1梱包20kg以内とし、また大きさも1m以内で梱包する。
- ポリ袋で梱包する。(100%ポリ袋)
- パトメ・金具・ファスナーは取り外しておく。
- 水濡れ・泥付きのないようにする。

ポリエチレン類 ポリマルチ、農ポリ、肥料袋

- 1梱包20kg以内とし、また大きさも1m以内で梱包する。
- ポリ袋で梱包する。(100%ポリ袋)
- 水濡れ・泥付きのないようにする。

水稲育苗箱

- 1梱包10枚とする。
- 農ポリ袋で梱包する。(100%ポリ袋)

農薬空容器・廃棄農薬

- 1梱包20kg以内とする。
- 農薬空容器と廃棄農薬は別々に梱包してください。
- ダンボール箱や透明なビニール袋に詰めて梱包してください。

各農機工場
繁忙期
営業について

上越・頸北・頸南・わかば農機工場 9月28日(日)まで / ひすい農機工場 10月5日(日)まで
■ 営業時間 8:30~17:00 上記期間までは土・日・祝日も営業しますので、ご利用ください。
期間は状況により変更となる場合があります。

令和7年度 直売所クーポン券付定期貯金 いどり彩

金融共済部

☎各支店・出張所、または金融課 TEL025-527-2020

50万円預入ごとに直売所クーポン券(1,000円分)をプレゼント!

クーポン券は「あるるん畑」、「ひすい食彩館」、「浦川原物産館」でご利用いただけます。

- ご利用いただける方 上越市・妙高市・糸魚川市にお住まいの個人の方
- 取扱期間 令和7年9月1日(月)～令和7年12月30日(火)まで
- 預入金額 50万円以上1,000万円以下 ※新規お預け入れに限ります。
- 預入期間 1年/自動継続(元金継続または元利金継続) ※通帳式に限ります。
- ・クーポン券は、貯金契約時にお渡しします。
- ・クーポン券の使用期限は令和8年2月28日(土)までとし、それ以降はご使用いただけません。



定期貯金50万円ごとにもらえる
最大20,000円分

JAは地域の農業と皆さんの生活を応援します!

金融共済部

☎融資取扱支店またはローン営業センター TEL025-522-4976

■キャンペーン期間 令和7年8月1日(金)～12月30日(火)

農業者応援キャンペーン

農地取得から運転資金まで、幅広い用途にご利用いただける「アグリマイティー資金」。キャンペーン期間中、当JAの組合員はさらに金利が▲0.3%。

農地の
取得・改良

農業用設備・施設
農機具の取得

長期・短期の
運転資金

※アグリマイティー資金の詳しい条件などについては、最寄りのJA支店へお問い合わせください。農業者応援キャンペーンについては、実行金額2億円を上限とし、期間中でも終了する場合があります。

※審査結果により、ご利用者さまのご希望に添えない場合がございます。詳細については上記へお尋ねください。

住宅ローン借換キャンペーン

©よりぞう

キャンペーン期間中に、他の金融機関から当JAに住宅ローンをお借換え(1,000万円以上)いただいた方にもれなく「くびき牛(5,000円相当)」をプレゼント!



＼こんな方にオススメ!／

リフォームを機に住宅ローンと
おまとめを希望する方

固定金利が終了し
金利が変更になった方

金利が気になる方は、お見積りだけでもご相談ください!

家の光「12月号」・「家計簿」購入のお知らせ

各支店

☎各支店・出張所

■申込締切 令和7年10月10日(金)

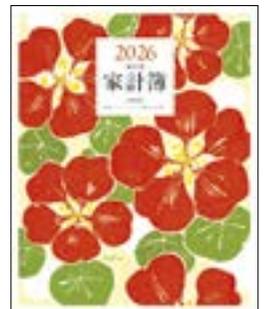
家の光12月号のテーマは「あたらしい防災」。防災力を高めるアイデアを特集しています。この機会にぜひ家の光を購読しませんか?

家の光12月号
900円(税込)



家の光家計簿は、日記欄もあり、ライフプランの記録にぴったり!今年から付録ではなく別売りとなります。必要な方はお忘れなくご購入ください。

家の光家計簿
660円(税込)



購入希望の方は、お近くの支店・出張所へお申し込みください。



JAセレモニーサービス

虹のホールいなだ フローリア
ご葬儀ご法要は 0120-971-959 0120-972-060



ホームページ



JA自動車共済安心サポート

24時間・365日の安心サポート

事故の場合 0120-258-931 レッカー
ロードサービス 0120-063-931



ホームページ・SNS

ホームページ



YouTube



Facebook



LINE営農
(上越地域)



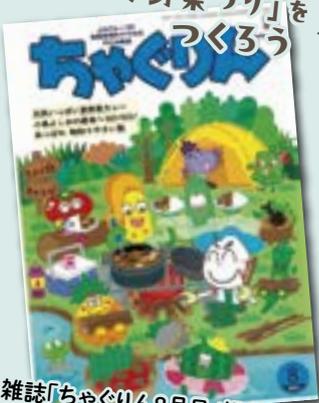
LINE営農
(ひすい地域)



Instagram
営農部



ちやぐりん工作教室
「ぷかぷか野菜つり」をつくる



雑誌「ちやぐりん8月号」掲載の
工作に挑戦しよう!

JAえちご上越食農キッズイベント
新米の季節だよ! 家族みんなで来てね!

ちやぐりん フェス

参加費
無料

えちご上越米で
シャカシャカ♪
おにぎりづくり



紙コップを
使った
おにぎりづくり!
小さなお友だちも
ごはんちゃん やってみよう!

令和7年9月23日(火・祝)

10:00~14:00

会場 上越あるるん村
(上越市大道福田639)

食品ロスを減らそう!
フードライブに
協力しよう



「えこもりん」からの
挑戦状!
食農クイズ



クイズに正解した
小学生以下のお友だちに、
お菓子をプレゼント!

一緒に来場いただいた
保護者の方にも、
JAおすすめ商品の
サンプルをプレゼント!



JAえちご上越
マスコットキャラクター
「えこもりん」との
じゃんけん大会
①11:30~ ②13:30~



えこもりんと
“じゃんけん”をして、
勝ち残ったお友だちには
プレゼントが!

主催: JAえちご上越 後援: JAえちご上越女性部

(一社)家の光協会 フードレンジャー・チャグリン ©伊藤ちゆん子

続けてうれしい健康習慣

令和7年度 JAえちご上越

3つの
コースから選んで
チャレンジ!

健康チャレンジ

継続
30日間

抽選で合計12名さまに美味しいごほうびプレゼント!

\\ お好きな //

チャレンジ期間 令和7年9月1日⇒令和7年12月31日のうち30日間

プレゼント応募締切 10月~1月までの毎月10日

健康チャレンジについて詳しくはこちら▶





上越あるるん村

秋の味覚フェア

9/20(土) - 23(火・祝)

イチジクやブドウ、栗など、地場産の秋の味覚が大集合！子どもも大人も楽しめるイベントを開催します。

敬老の日 似顔絵大募集！

おじいちゃん、おばあちゃんの似顔絵を描いてお持ちいただいたお子さまに「ご当地グミ」をプレゼント！似顔絵はあるるん畑店内に掲示させていただきます♪

受付期間 9月23日(火・祝)まで



ひすい食彩館

※新米の販売開始時期によって日程が前後する場合があります。

新米フェア 9/27(土) 9:00~12:00

新米コシヒカリの試食や糸魚川産野菜を使った漬物の試食、惣菜の販売を行います。

浦川原物産館

ブドウ・イチジク

地元山本ぶどう園を中心とした、種類豊富なブドウや完熟のイチジクなどの旬のフルーツが勢揃い！毎年大好評の地場産フルーツをぜひご賞味ください♪

今月のおすすめ



上越あるるん村
上越市大道福田639
TEL 025-525-1183
9:30~18:00



ひすい食彩館
糸魚川市東寺町1-6-64
TEL 025-553-0050
9:00~17:00



浦川原物産館
上越市浦川原区顕聖寺619-1
TEL 025-599-2387 10:00~17:00
定休日 毎週火・水曜日

7/23 設立20周年を記念して式典 あるるん畑

あるるん畑利用組合は設立20周年を記念し、講演会を行いました。106人が出席し、設立から20年の歩みを振り返りながら、さらなる発展を目指そうと意識統一を図りました。

講演会では、あるるん畑元店長で現在は作家のJegさんが「あるるん畑が未来を変える - スマホ社会と「考える力」の再生」をテーマに講演。「子どもたちの考える力を養う環境をあるるん畑が担っている。今後も誇りを持ってがんばってほしい」と伝えました。



今後のさらなる発展に向けて行った、ガンパロー三唱。

7/26 地場産の魅力をPR あるるん畑

NIIGATAナスサミット実行委員会による「上越なす祭り」と、「上越野菜」振興協議会による「夏の「上越野菜」フェア」をあるるん畑で行いました。

「えんぴつなすのステーキ」や「越の丸茄子の揚げびたし」のほか、「焼きえだまめ」や「高田シロウリの糖絞り漬け」、「なますカボチャのトマト炒め」の試食を用意。来店者は調理方法などを聞きながら試食をしていました。



来店者に地場産の魅力をPRしました。

9月30日までは
さらにおトク！

JA直売所でJAカードをご利用いただくと、通常5%割引が、9月30日までご請求時に10%割引となります。

いつでもおトクな
JAカード特典！
JA直売所のご利用は
請求時
10% 割引

いつでもおトクな
JAカード特典！
JA直売所のご利用は
請求時
5% 割引！

限定！キャンペーン
JA直売所の
ご利用は請求時
5% 割引！

対象期間
令和7年9月30日(火)まで
まだJAカードをお持ちでない方は
JA各支店・出張所でお申し込みいただけます。

詳しくはこちらから



お問い合わせ先 各支店・出張所または金融課 TEL 025-527-2020

クロスワードパズル

出題:ニコリ

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

ヨコのカギ

- 1 9月の第3月曜日は——の日。国民の祝日です
- 2 敷布団にかけます
- 3 ツナやビールを詰めます
- 4 仕入価格のこと
- 5 空振りしたらバットが切るもの
- 7 高知市の景勝地。坂本龍馬像があります
- 9 重い——を上げて出かけた
- 11 ダリアやコスモスはこの植物の仲間
- 12 文は主語、——、目的語などからできています
- 13 鶏卵の重量の60%を占めます
- 15 兄が一人いる男性
- 16 しめ縄から下げる白い紙。「垂」「四手」と書きます
- 17 なくて七——

タテのカギ

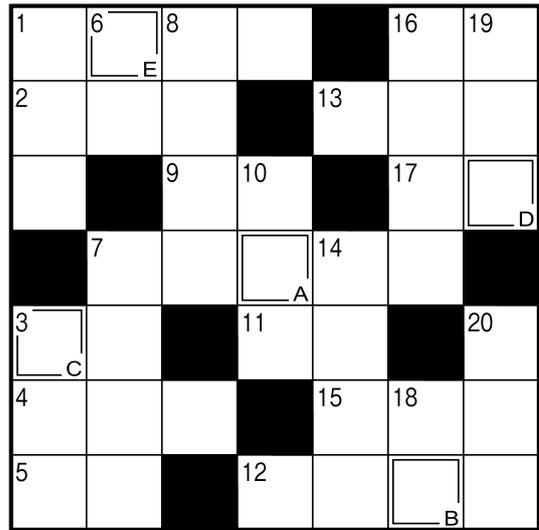
- 1 車窓を流れていきます
- 3 おしゃべりではありません
- 6 アルファベットの5番目
- 7 9月1日は——大震災の起きた日。現在は防災の日になっています
- 8 あばら骨ともいいます
- 10 塗装していない、——のカウンター
- 14 数え年99歳のお祝いです
- 16 ホッキョクグマの別名
- 18 終わったら秋になります
- 19 祭りの——で焼きそばを買った
- 20 十五夜に供える月見——

今月のプレゼント

米粉カレー (中辛) ハヤシルウセット

体にやさしいカレーとハヤシルのルウです。
新潟の米粉でつくりました。

10名
さま



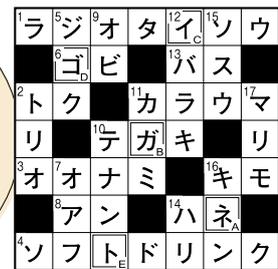
答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

7月号の答え

答え 「ネガイゴト」

応募総数は
126通でした。



パズルの答えと一緒に「おたより」もお待ちしています♪

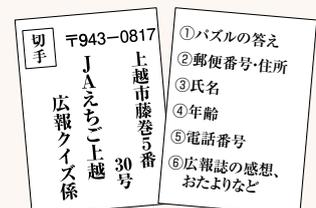
広報誌への感想やおたよりテーマ、日々の出来事など皆さまの投稿をお待ちしています。

『①パズルの答え、②郵便番号・住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報誌の感想など』を記入し、ハガキまたは封書、ホームページにてご応募ください。正解者の中から抽選で、「米粉カレー・ハヤシルウセット」を10名さまにプレゼント！当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

Webでの
ご応募は
こちらから



【締切】9/30(火)消印有効



※郵便料金の不足にご注意ください。

今月のテーマ 9/1は防災の日。

あなたの防災対策・備えているものを教えてください！

組合員数 (令和7年7月末現在)

48,055人

・正組合員数 17,163人

・准組合員数 30,892人

役員会だより (主な協議事項)

第6回理事会(7月16日開催)

・令和7年度渇水緊急対策
農作物かん水用機械等燃料費助成金
給付に関する要領の設定について

第7回理事会(7月29日開催)

・不良債権の処理方針について
・新潟県農業信用基金協会への出資払
込みについて
・株式会社ジェイ・エーひすいサービ
スの解散について
・固定資産の改修および解体について
・令和7年産米の取扱いについて
・令和7年産米カントリーエレベーター
およびライスセンター利用者への仮払
い(立替金)について
・上越カントリーエレベーター サイロ
補修工事について
・資材店舗の収支改善に向けた取組み
について
・共済端末機等のリース契約について

第3回経営管理委員会(8月1日開催)

・新潟県農業信用基金協会への出資払
込みについて
・株式会社ジェイ・エーひすいサービ
スの解散について
・共済端末機等のリース契約について

編集後記

現在編集中のJAコミュニティ誌「JAMP」^{ジャンプ}。昨年から、小学校や保育施設を通して配布させていただいています。今年も9月1日に発行予定。今回は“地産地消”をテーマに、親子でつくれるおすすめレシピなども盛り込んで作成しています。先日は、夏休み期間中の子どもたちに協力してもらい、撮影を行いました。ぜひご覧ください♪



(大・は)

●水やカップ麺、レトルトごはんを用意していますが、まだまだ備えには足りていません。防災グッズももっとしっかり備えなければと考えています。

(浦川原区 W・Aさん)

●井戸を使えるようにしてあります。発電機を用意し、防災リュックに必要なものを詰めています。

(頸城区 H・Kさん)

●断水になるかもしれない！と、水・ドライシャンプー・パックごはん・缶詰を買い足しました。これを機に、防災の必需品を見直しました。

(板倉区 S・Kさん)

●最低限必要な食料(3日分くらい)とカセットコンロやモバイルバッテリーなどを用意しています。今後、余裕があればテントや寝袋、携帯トイレなどを準備していく予定です。

(上越市 K・Mさん)

●冬場用に防寒シートを用意しています。

(中郷区 T・Tさん)

●お風呂の残り湯をポンプで吸い上げて、植木鉢の水やりをしています。いざという時、防災対策にもなるかと思っています。

(三和区 E・Rさん)

●消火器を備えています。数年に一度、入れ替えています。

(頸城区 A・Sさん)

●ラジオや水、乾パンなど用意してあります。非常食は定期的に賞味期限を確認し、入れ替えて消費する「ローリングストック」を実践しています。

(糸魚川市 I・Sさん)

テーマ以外のおたより紹介

●身近で一生懸命農業をがんばっている様子を楽しみに読ませていただいています。今年の夏は暑く、少雨で農業には大変な打撃です。秋作業が順調にできることを願っています。

(上越市 Y・Kさん)

●いよいよ秋ですね。まだまだ暑い日が続きます。健康に留意して収穫の秋を迎えましょう！

次号のテーマ 【毎年恒例お題】

コレさえあれば何杯でも！大好きなごはんのお供



ピーマンまるごと
コロツケ風

材料(3~4人分)

- ・ピーマン ……7~9個
- ・ジャガイモ ……2個(300g^ア)
- ・豚ひき肉 ……80g^ア
- ・タマネギ ……1/4個(50g^ア)
- ・ニンジン ……30g^ア
- ・マヨネーズ ……大さじ2
- ・水 ……大さじ1
- ・米油
- ・塩・コショウ



- A**
- ・しょう油 ……小さじ2
 - ・みりん ……小さじ2
 - ・砂糖 ……小さじ2

つくり方

- ① ジャガイモは皮をむき、2等角くらいに切って水にさらす。タマネギ、ニンジン、ピーマン1個をみじん切りにする。
- ② ピーマンはヘタのきわに軽く包丁を入れてヘタごと種を取り除く。
- ③ ひき肉に**A**とニンジン、タマネギを入れて混ぜておく。
- ④ ジャガイモの水を切って耐熱皿に広げ、水大さじ1をふりかける。その上に**③**の肉だねを広げてのせる。ふんわりとラップをかけ、600Wのレンジで8~9分加熱し、熱いうちにつぶして粗熱を取る。
- ⑤ **④**に刻んだピーマンとマヨネーズを加えて混ぜ合わせ、塩・コショウで味を調える。
- ⑥ ピーマンのヘタを取った穴から**⑤**の肉だねを詰める。フライパンに米油を熱し、ピーマンを並べて焼く。全体に焼き色がついたら完成。



調理動画を公開中！



YouTube
[JAえちご上越チャンネル]



©よい食P

